

令和5年度こども家庭科学研究費補助金  
成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業  
分担研究報告書

低出生体重児の中長期的な心身の健康リスクに関するアンブレラレビュー

研究分担者 諫山哲哉 国立成育医療研究センター

研究分担者 竹内章人 国立病院機構岡山医療センター

研究要旨:低出生体重児、早産児の成人期の予後を包括的に把握するため、これまでに報告されたシステマティックレビュー論文を対象にしたシステマティックレビュー(アンブレラレビュー)を進めている。今年度は、システマティックレビュー計画書を作成し、登録サイトの PROSPERO への登録を行い、文献検索式を作成したうえで、各種データベースからアンブレラレビューの対象となる文献の抽出を行った。成人(18歳以上)を対象とし、早産児、低出生体重児では正期産児と比較して認知機能の問題、神経疾患、精神疾患、生活習慣病の合併率を検討するための検索式を作成し、MEDLINE、EMBASE、PsycINFO、Cochrane Library、CINAHL、医中誌の各データベースから過去20年間のシステマティックレビューを抽出した。重複を除外し最終的に約4800編がスクリーニング対象論文として抽出された。今後はスクリーニング作業に進む予定である。

#### A. 研究目的

低出生体重児では思春期以降に至るまで、成長、発達の問題や、生活習慣病や精神疾患の合併リスク上昇などが報告されている。思春期ごろまでのこれらのリスクに関するレビューは比較的多いが、より長期の予後、すなわち成人期での健康リスクに関してはまだ十分にはまとめられていない。今回我々は、低出生体重児、早産児の成人期の予後を包括的に把握するため、これまでに報告されたシステマティックレビュー(系統的総説)論文を対象にしたシステマティックレビュー(アンブレラレビューと呼ばれるタイプのもの)を行った。

#### B. 研究方法

今年度は、国立成育医療研究センターの文献検索専門家と相談しながら文献検索式を決定し、MEDLINE、EMBASE、PsycINFO、Cochrane Library、CINAHL、医中誌のデータベースからアンブレラレビューの対象となる文献の抽出を行った。本研究では、成人(18歳以上)を対象とし、参考文献を参考に、早産児、低出生体重児では正

期産児と比較して認知機能の問題、神経疾患、精神疾患、生活習慣病の合併率が高くなるかどうか等を検討する予定である。対象となる文献は2004年以降に出版されたものとし、低出生体重児、早産児の成人期の健康リスクに関する論文を網羅できるように検索式を作成した。

またシステマティックレビューの国際前向き登録である PROSPERO に本研究の登録申請を行った(CRD42024531793)。

#### (倫理面への配慮)

既存の文献のシステマティックレビューであり、倫理面への特別な配慮は不要。

#### C. 研究結果

MEDLINE、EMBASE、PsycINFO、Cochrane Library、CINAHL、医中誌からそれぞれ抽出された文献から重複を除外し、最終的に約4800編がスクリーニング対象論文となった。

#### D. 考察

抽出された論文の編数を考えると、検索式の決定に十分な時間をかけたことでアンブレラレビューの対象となる文献を網羅的に抽出することができたと考えられた。今後は、スクリーニング作業に進んでいく予定である。

#### E. 結論

低出生体重児、早産児の成人期健康リスクに関するアンブレラレビューのために文献検索を行い、最近 20 年間の約 4800 編が一次スクリーニング対象として抽出された。令和 6 年度に、抽出された論文から対象論文のスクリーニングを行い、それぞれの研究の質の評価したうえで、アンブレラレビューとしてまとめたうえで、学会発表、論文執筆を行う予定である。

#### 参考文献

Jamaluddine Z, et al. Effects of size at birth o

n health, growth and developmental outcomes in children up to age 18: an umbrella review. Arch Dis Child. 2023;108:956-969.

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

特許取得

なし

実用新案登録

なし